

堺市の生物多様性にふれる冊子

堺いさものの通信



クマゼミ

2023 夏 号



アオサギ



ギンヤンマ



ニホンアマガエル

ノラニンジン



ニホントカゲ

堺にすむ いきものたち

生物多様性とは、単に動物や植物の種類が多いということだけを意味するものではありません。地球上では、様々な環境の中で多様な生き物が食べる・食べられる・共生するなど、お互いにつながりをもって生きています。このように、多様な生き物がお互いにつながりをもって生きていることを生物多様性といいます。

ここでご紹介する写真は、すべて堺市内で撮影された写真です。WEBサイト「堺いきもの情報館」に市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かな生き物たちや彼らのすみかを見て・知って、生物多様性を感じてみてください。**生物多様性とは身近なものなんですよ！**



シジュウカラ



ベッコウバチ



コ克蘭



サワガニ



オオケマイマイ

いき
もっと もの知りになれる！
生物多様性のおはなし

- アカミミガメとアメリカザリガニ -

外来生物法が改正され、2023年6月よりアカミミガメおよびアメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定されました。今回は、「条件付」とは何か、ペットとして飼育している場合、これから飼育したい場合の注意点を簡単に説明します。

特定外来生物は、捕獲、飼養、譲渡等が原則として禁止されています。その一方で、条件付特定外来生物であるアカミミガメとアメリカザリガニの2種については、一般家庭における飼育、そのための無償譲渡等については禁止されていません。これは、一般家庭における飼育を禁止すると、川や池への違法放流が生じ、生態系にさらなる悪影響が生じるおそれがあるためです。ペットとして飼育している場合は、引き続き責任をもって、寿命を迎えるまで世話を続けてください。やむを得ず飼育を続けられない場合は、新たな飼い主を探してください。また、これらの飼育を希望する場合は、生き物を飼育することの責任の重さを事前によく考えてください。アカミミガメの寿命は約40年、アメリカザリガニでも4、5年といわれています。責任をもって飼育を続けられるでしょうか。迷いや心配があれば、飼わないことを決断することも大切です。

条件付特定外来生物であるアカミミガメとアメリカザリガニの規制について説明しましたが、法律が改正されても、私たちの行動が変わらなければ意味がありません。外来生物問題は、私たち人により引き起こされています。私たちが、バランスのとれた生物多様性を守るという意識を持ち、行動することが不可欠です。



堺市の生物多様性を考えるWEBサイト

《編集・発行》

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp



WEBサイト
トップページ

ユーザーネーム
sakai_ikimono



Instagram
アカウント